

## 令和4年度第3回さいたま市行財政シンカ推進会議 議事要旨

### 日時

令和5年3月27日（月）10時00分～11時30分

### 開催場所

さいたま市役所 4階 政策会議室

さいたま市役所 2階 特別会議室（オンライン会議・併用）

### 出席者

（委員）

田矢委員長、伊藤委員、高橋委員、前野委員、吉浦委員

（さいたま市）

市長、日野副市長、高橋副市長、小川副市長ほか

### 次第

- ・ 前回会議における御意見への対応について
- ・ 報告事項
  - 令和5年度当初予算の概要について
  - 令和4年度職員の働きがいや職場環境等に関するアンケート結果の概要
- ・ 若手・中堅職員の取組について（報告）

## 議事概要

- オフィスレイアウトは、「集中したい時に集中するスペースがあったり」、「Web会議の時には囲まれたスペースがあったり」、「立ち会議ができたり」、もっとバリエーションに富んだ、それぞれの職場の働き方に合わせたレイアウトについて、自分たちで考えることも必要。何が自分にとってよいか考え、自ら選択するということができるようになるのとよりよくなるのではないか。
- 市役所へ行く機会があるが、執務スペースは書類が多く、狭いという印象がある。もう少し一人当たりの面積を確保した方が、職員が働きやすい環境になるのではないか。
- やりがいを感じてない人にインタビューをして、どうやったらやりがいがあるかを考えてもらうことや、それぞれが「どうやったらもっとわくわくしながら、力を合わせて働き、主体的に働きたくなるか」ということを、職員に考えてもらって、精神的にやりがいを感じやすくなるような施策をやっていくことが必要。
- 「早く職場に来たくてたまらない」という職場になるためにはどうすればいいのかというのを考えるのがよい。
- 社員がわくわくしながら働いている民間企業を職員が見学に行き、「こんなに違うのか、もっと生き生きできるはずだな」というヒントを得てもよいのではないか。
- 役所以外の状況を体感すること、現状の課題を分析すること、それから、改善提案の中で、わくわくする働き方を目指すと良いのではないか。
- 市民に喜んでもらうために、我々がいつも喜びを感じている風土が必要。そのために、各セクションのリーダーがどれだけ強い意思を持って、市を良くしていきたいと思っているのかというところが、改革の一番のキーになる。
- 市役所の目的は市民の幸せ。このことをもう1回しっかりと皆さんがフォーカスしていくような取組が、もっと具体的に継続していけば良くなるのではないか。
- そもそも、市役所は市民のための組織。今回の提案にあった改善が、市民にどういったメリットがあるのかということに結びつけると、取組を進めやすくなるのではないか。
- デジタルを取り入れて人的余裕を出して、その人的余裕を新たな市民サービスに結びつけるというのがDX。
- まずは、職員のWell-beingを高め、その結果として、市民のための新たなサービスを創造していくということにつなげていただきたい。